

論文審査の要旨
Summary of Dissertation Review

博士の専攻分野の名称 Degree	博 士 (学術)	氏名 Author	朴 廷苑
学位授与の要件	学位規則第4条第①・2項該当		
論文題目 Title of Dissertation リメイク映画とドラマにおける会話構造から見た日韓言語文化の視点－隣接対と連鎖組織を中心に－			
論文審査担当者 Dissertation Committee Members			
主 査 Committee Chair	准教授 深見 兼孝		印 Seal
審査委員 Committee Member	教授 堀田 泰司		
審査委員 Committee Member	教授 佐藤 暢治		
審査委員 Committee Member	教授 今田 良信 (人間社会科学研究科)		
審査委員 Committee Member	広島大学名誉教授 多和田 眞一郎		
〔論文審査の要旨〕 Summary of Dissertation Review			
<p>本論文は日本と韓国で発売された映画およびドラマとそのリメイク作品を資料に、対話の最小単位である隣接対を形成する二つの発話内容の特徴、好まれる応答と好まれない応答の出現およびその内容、また隣接対の連鎖の様相などを中心に、原作とリメイク作品を比較し、その違いから、日本と韓国の言語文化的な特徴を見ようとするものである。本論文は8章からなり、第1章では研究の目的や論文の構成、第2章では先行研究について述べ、第3章では隣接対、第4章では好まれる応答と好まれない応答、第5章では連鎖組織の拡張、第6章ではその他の表現に関してオリジナルとリメイク作品を比較し、第7章でまとめを行い、第8章で結論と今後の課題を述べている。</p> <p>本論文の特徴は、映画およびドラマとそのリメイク作品を資料に、隣接対を中心に据えて分析を行なった点にあり、これは従来の日韓対照研究には見られない斬新な方法で高く評価できる。また、この方法に基づいて、オリジナルとリメイク作品の類似した場面に見られる登場人物の発話を、対人関係や会話の目的などとともに丁寧に記述、日本人と韓国人のさまざまな反応の違いを浮き彫りにしていることも評価に値する。また、予備審査で指摘された構成上の問題もほぼ解消されていた。</p> <p>なお、本論文に関連して次の査読付き論文が公開されている。</p>			
朴廷苑(2020)「日韓言語文化的な視点の違いから見る日韓映画に反映された会話構造の様相」『日本語教育研究』51、韓国日語教育学会、pp.97-114			
朴廷苑(2021)「韓日リメイク映画における会話構造の比較分析-隣接対と連鎖組織を中心に-」『日本語文学』88、韓国日本語文学会、pp.103-133			
以上、審査の結果、本審査委員会委員は、全員一致で本論文が著者に博士(学術)の学位を授与するに十分な価値があるものと認め、合格とした。			